

2025年度
プロジェクト調査
中国地域における農水産品の高付加価値化に向けた
取組み推進方策検討調査
提言内容要旨

取組み推進方策検討の方向性

中国地域における農水産業の現状・課題

担い手不足

小規模・小ロット

高コスト・低生産性

大消費地から遠い

中山間地域の
集落縮小

ブランド力有する
産品あり

調査により検証された 高付加価値化に有効な取組み

生産品のブランド化

品質(味・鮮度・安全性)

商品価値の適切な伝達

価格決定権の確保

地域関係者の連携

独自の販売チャネル

消費者への直販

輸出拡大

生産性向上

省力化・省エネ

スマート農業・水産業

設備・データの共同利用

法人化・組織経営

マーケティング強化

産地ストーリー

生産地のブランド化

品質の見える化

加工品開発

6次産業化

地域課題の解決

コミュニティ維持

地道な取組み

担い手の確保

適切な賃金設定

副業・兼業人材

高付加価値化に向けた 取組み検討の方向性

地域の強みの活用と
連携を通じた稼ぐ力の向上
〔経済的価値〕

消費者に刺さる中国地域
農水産品の価値創造と発信
〔消費者価値〕

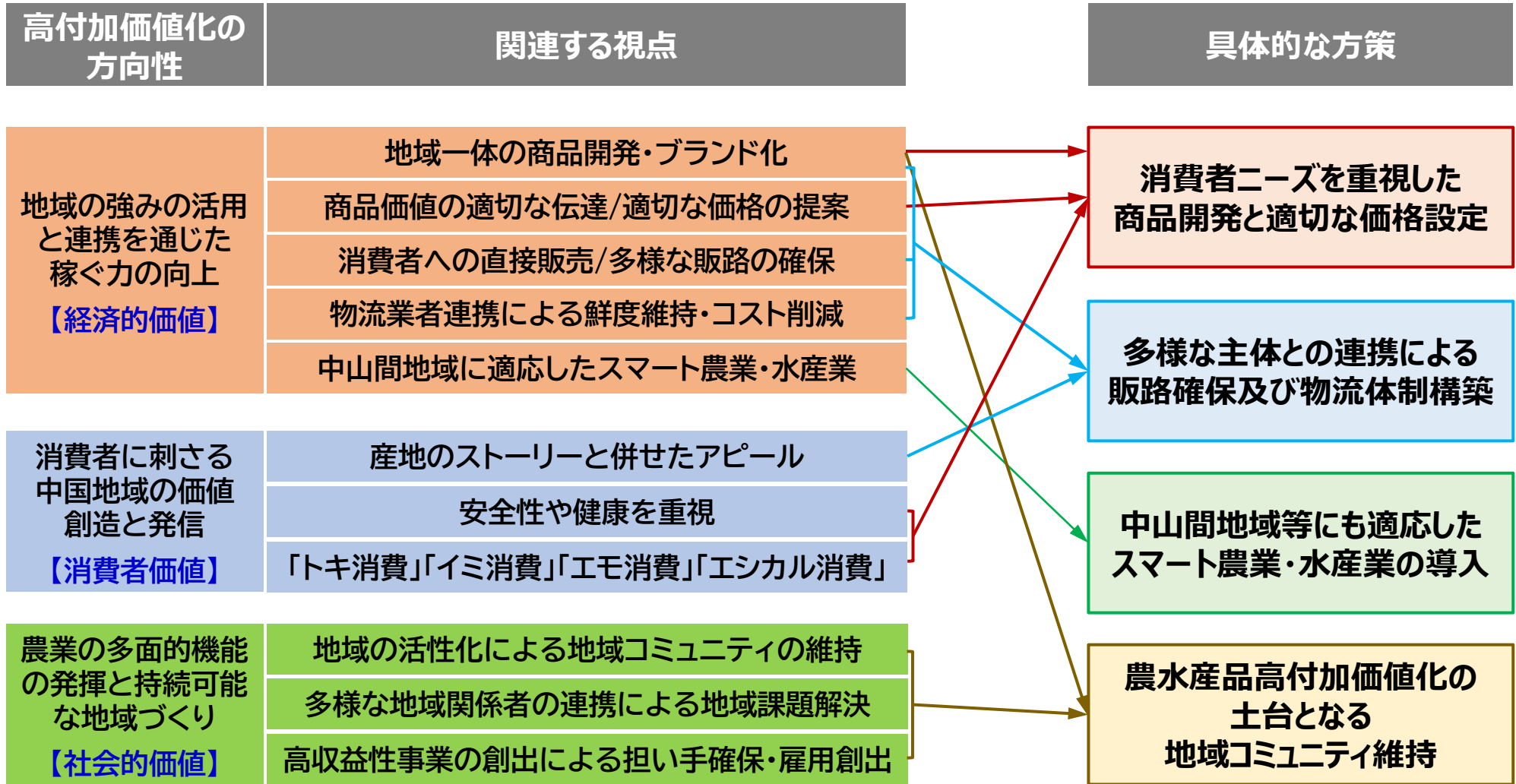
農業の多面的機能の発揮と
持続可能な地域づくり
〔社会的価値〕

経済的価値に関する取組み

消費者価値に関する取組み

社会的価値に関する取組み

中国地域における農水産品高付加価値化の具体的な方策



① 消費者ニーズを重視した商品開発と適切な価格設定

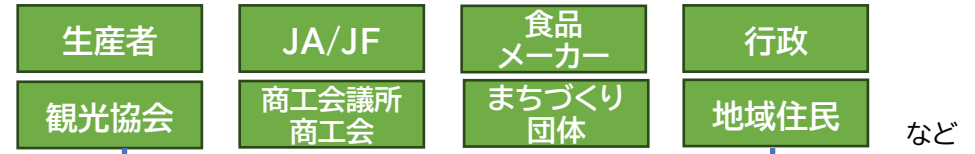
人材・ノウハウ等の面で生産者単独での対応が難しい

食品メーカー、行政、各種団体など地域の関係者が連携して専門的なプロジェクトチームを組成する

開発した商品の地域ブランド化を図ることで、

- ・農林漁業者の手取収入の増加
- ・地域全体の活性化

につなげる

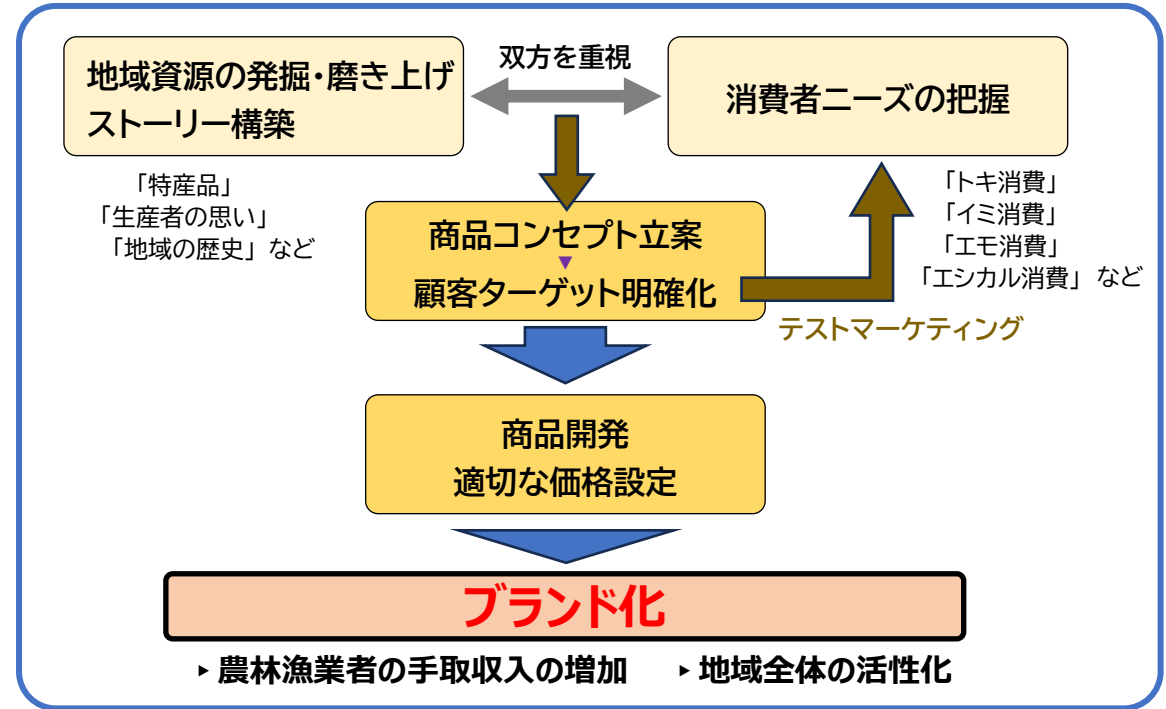


地域ぐるみの連携

組成

(注) JA:農業協同組合
JF:漁業協同組合

専門的なプロジェクトチーム

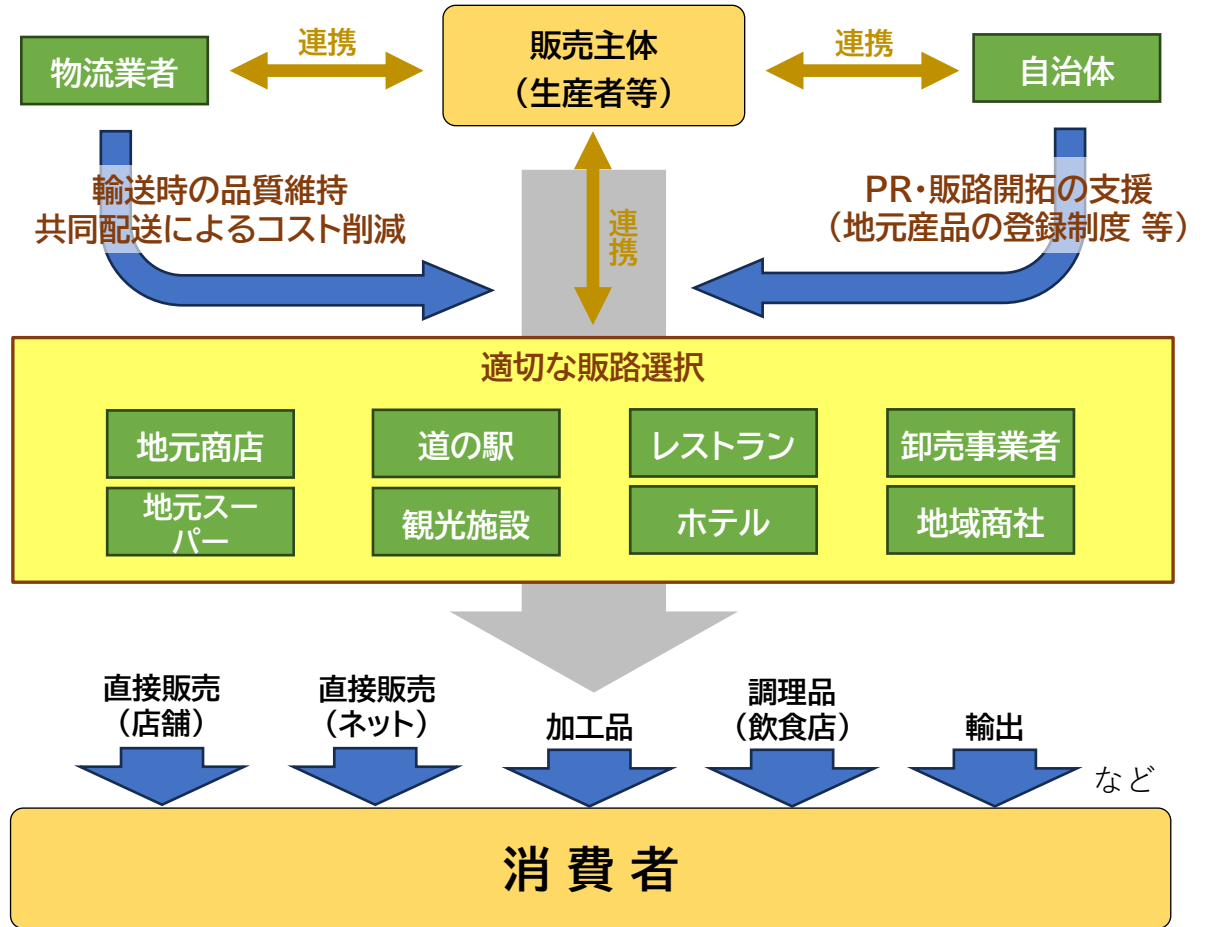


②多様な主体との連携による販路確保及び物流体制構築

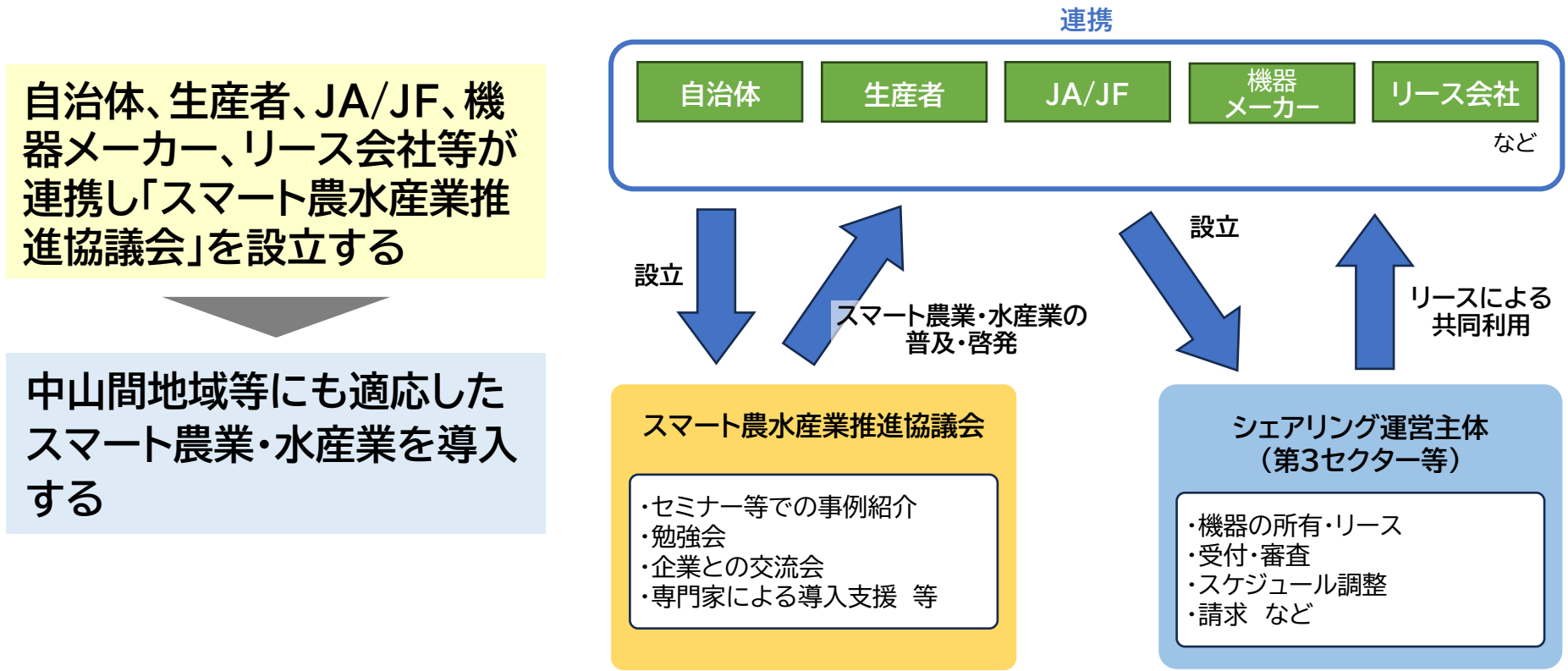
生産者等が販売主体として自前に対応できない部分

小売業者など多様な主体と連携することにより、

- ・農水産品の販路を確保する
- ・品質維持・コスト削減に向けた物流体制を構築する



③ 中山間地域等にも適応したスマート農業・水産業の導入



④ 農水産品高付加価値化の土台となる地域コミュニティ維持

集落、農業法人、自治会、町内会など多様な地域の関係者が連携する

農水産品高付加価値化の土台となる地域コミュニティの機能維持・強化を図る

